

道德の授業の取り組み～・・・道德の授業参観NO2

道德の授業では、子どもたちが自分のこととして考えられるように、ゲスト・ティーチャーなどを招くなど授業の工夫をしています。8日の授業参観の第5学年授業では、柔道のフランス国際大会など様々な国際大会でメダリスト、現在柔道の指導をされている保護者の五島さんにお話をいただきました。5年生の授業の様子を紹介します。

第5学年「人生の金メダル」～謙虚な心で～

ロサンゼルスオリンピックで金メダリストの山下泰裕選手は、小学校4年生から柔道を始め、練習に打ちこみ最年少で日本一になります。その次の試合で「自分は強いんだ」と過信し、決勝戦で敗れてしまいます。試合後の監督の言葉で自分の試合にのぞむ姿勢を反省し、その後一度も負けることもなく、現役時代203連勝という大記録を樹立しました。

子どもたちは、203連勝したわけを努力した、練習したなど考えていましたが、山下選手の姿から、「素直に話を聞くことは大切だ」「うぬぼれはいけない」など、気付いていきました。終末は、柔道の国際大会で活躍されていた五島さんに柔道着姿で登場していただきました。五島さんから「素直さ、謙虚さ、感謝」など実際の体験の中から話していただきました。五島さんも山下選手を指導された先生から柔道を習っていたことも話されました。いつも身近な友達のお母さんの話がいつも以上に子どもたちの心に響く時間になりました。



【子どもの感想から】

- *五島さんの話を聞いてぼくは、素直な気持ちと感謝の気持ちを大切にしようと思いました。
- *五島さんのお話で、「素直が伸びる」と分かったので、素直になります。
- *わたしは「実るほどこうべをたれる稲穂かな」の言葉が心に残りました。自分が大人になっても天狗にならず感謝の気持ちと優しい心をわすれずに生きていこうと思いました。
- *私は、五島さんのように強くてやさしくて、謙虚な心をもつ人になりたいです。そしていつどんなときでも家族や友達、みんなにありがとうや感謝の心をわすれないようにしたいと思いました。

保護者の方のアンケートにも、道德の授業について書いていただいています。そのいくつかを紹介します。

- *我が子もスポーツをしていてどうしたら子どもに努力の大切さ、素晴らしさ、そして周りへの感謝の気持ちを気づかせたらいいか私自身も悩んでいたところでした。今日の授業が子どもたちにとっても貴重なものとなったと思います。また、ゲスト・ティーチャーもとてもよかったと思います。五島君のお母さんにも感謝です。これからの子どもたちの心の成長が楽しみです。
- *授業内容がとても考えられていて、保護者のわたしたちもひきこまれました。そして何と言っても最後に五島さんの登場で、子どもたちのキラキラした顔が印象的でした。子どもたちの心に響いた授業だったと思います。
- *今回、保護者さんの方が教壇に立たれ授業されました。とても良かったです。

本物の出逢いは、子どもたちにとってかけがえのない学びの場です。「百聞は一見にしかず」ということわざにもありますが、まさに今回の五島さんのお話は、子どもたちや参観された保護者の方の心に響く活動です。お忙しい中、子どもたちにお話しいただいた五島さん、本当にありがとうございました。

龍野小学校では、これからも心に響く授業を子どもたちと共に作っていきます。